

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《桜木町ステーションナーサリー》	種別：児童分野 認可保育所
代表者氏名：施設長 高橋 順子	定員（利用人数）： 49 名
所在地：〒231-0062 横浜市中区桜木町1丁目1-93 JR桜木町ビル2階	
TEL：045-227-6024	ホームページ： www.starchild.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 7名
専門職員	施設長 1名 保育士 15名
	栄養士 1名 調理員 2名
	事務職 1名
施設・設備の概要	（居室数） 2室 （設備等）
	園庭、給食室、事務室、乳児・幼児トイレ、更衣室など

③理念・基本方針

【保育理念】

子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し伸ばす保育を実施します。

【保育目標・方針】

よく考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）

個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）

やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身に付けます）

④施設・事業所の特徴的な取組

○ JR桜木町駅新南口改札（徒歩1分）に隣接するJR桜木町ビル園専用エレベーター2階にあります。鉄道発祥の地である桜木町にちなんで、園内はプラットフォームをコンセプトとし、廊下の床にはレールの絵やトンネルがあります。駅側に面する窓からは桜木町駅のホームが臨め、行き交うJRの電車をいつも見ることができます。また、観光地である桜木町は海側には日本丸メモリアルパーク、運河パーク、赤レンガ倉庫など、広々とした敷地で遊ぶことができ、山側には、掃部山公園や野毛山公園と豊かな自然に親しみ、遊ぶことができます。横浜の象徴であるランドマークや観覧車に見守られるように歴史と自然が融合の地ならではの環境を身近に感じながら過ごせます。

○ 養護と教育を一体的に展開し、子どもたちが毎日安心して元気に過ごす場を提供すること。子どもの自発的な行動を実りある成長に結び付けるよう、刺激の与え方や保育環境の構築に工夫する。豊かな感情表現、スキンシップ、コミュニケーションを大切にすること。否定語、禁止語は極力使わず肯定形による前向きな言葉掛けをすること。

○ 幼児クラスより、スターチャイルドオリジナルワーク、英語教室、体操教室、5歳児習字学習を実施。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月2日（契約日）～ 2023年 1月 24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、職員の情報共有で丁寧な対応をしています

乳児には、表情や仕草から子どもの気持ちを汲み取り、絶えず応答的に声をかけて愛着関係を築くよう努めています。遊びや食事、排泄など日々の生活は一人ひとりの子どもに応じて対応していて、観察時の午睡の入眠への動作も、安心できるよう身体をさすったり、足をマッサージしたりしてスキンシップを図るなど様々でした。幼児クラスは子どもが発言する機会を多く作り、子どもの発信を受け止め、実現できるよう配慮しています。子どもの興味に合わせて主体的に活動できるよう環境を整えています。施設長は取組む過程が大切と職員に伝え、子どもが協同して活動するお店屋さんごっこや劇ごっこなどは何が必要かなど、子どもたちが考えて行動できるよう援助しています。また、言葉が出ない子どもの気持ちを受け止め、自信が持てるよう、他の職員がサポートに入り、一人ひとりの子どもと一対一で向き合い対話する時間を持つようにしています。主任はクラスを巡回し、個々の状況に応じてケース検討やミーティングで話し合うなど職員間の個別対応の情報共有に努めています。この様な丁寧な日々の保育の積み重ねで、互いの思いやりを育み、年上の子どもへの憧れや年下の子どもへのいたわりなど子どもの将来の見通し、成長につながるよう援助しています。

◆保育の質の向上に努め、さらに園内研修の充実を図っています

法人は、人材育成計画で求められるスキル・人材像を明示して、育成に向けた取組を行っていて、園では、職員の意向と施設長指示のもと、一人年3回の法人研修の受講と年1項目のキャリアアップ研修の受講を目指しています。更に、園内研修では施設長が理念、コンプライアンス、危機管理等のテーマで、主任が予め職員の困っている内容を吸い上げた保育のヒントとして、保育の基本、保育の疑問、事例検討、マニュアルの活用等のテーマで行っています。また、担当職員がリズム遊び、習字、手作り玩具、乳児保育、障害児保育等の講師となることで理解を深める取組を実施しています。この様な研修が日々の保育に生かされているか、施設長と主任は、保育室での観察や保育日誌で保育の質の現状について確認し、保育の質の向上に向けて、日常の会話、個人面談、会議などの機会に職員から意見を聞き、市の「よりよい保育のためのチェックリスト」による自己点検などを行って保育の質の向上に繋げています。

◆地域交流と地域子育て支援に積極的に取り組んでいます

子どもたちは、地域の季節の行事や興味のある活動などの地域交流に参加しています。大岡川地域のイベント（鯉のぼり）やJR桜木町駅のイベント（七夕、鉄道開業記念）に参加して、自分たちが制作した作品展示を見学しています。また、勤労感謝週間に、JR桜木町駅駅長にメッセージを持参する取組も行っています。市主催の市庁舎での防災・交通安全イベントにも参加するほか、ショッピングモールに展示された自動車への乗車体験をしたり、年長児が中区保育施設駅伝大会に参加したりと、コロナ禍でも地域との交流を広げる多様な取組を行っています。

また、コロナ禍ではありますが、年間約100組ほどの園見学者に「地域子育て支援プログラム」のチラシを配布して、参加を促すなど積極的に園の存在を知らせていま

す。今年度は、感染症対策をして、未就園児対象の育児講座（「おはなし会」「リズム遊びとわらべ歌」等）交流保育（「一緒に遊ぼうよ」「たなばた会」等）園庭開放（毎月第3木曜日）育児相談、未就園児・幼稚園児対象の一時保育を実施して、育児に関するノウハウや、専門的な情報を伝える取組をしています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2020年4月、スターチャイルド《桜木町ステーションナーサリー》は開設いたしました。東京オリンピックが延期となった年、日本中が不安に苛まれたコロナ禍の開園。これまで経験のなかった事態でした。法人スタッフの心強いサポート、保護者の皆さまの寛大なるご理解、見守っていただいた地域の方々、行政の支えがあってこそ、困難を乗り越えることができました。そして、この職場を選び、園の立ち上げに力を尽くしてくれたスタッフに称賛を贈ります。

さて、開園3年目を迎え、第三者評価を受審させていただきました。保護者の皆さまには調査のご協力を頂き、心より御礼申し上げます。貴重なご意見、ご評価頂いた結果を受け、更なる園の発展を目指して参ります。

また、調査員の方には評価項目一つ一つの振り返りを長時間に渡り、親身にご対応くださいました。価値ある機会を頂き、心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり